

※本講座の25日は当会の10月例会を兼ねます。

認定NPO法人千葉県東葛地区・生と死を考える会



グリーフケア講座2025



対面とオンラインのハイブリッド開催

※Zoomを利用

※講義部分のアーカイブ（録画視聴）もあります。

申込締切

10月10日

(金)



会場：麗澤大学あすなろ校舎5階2504教室

大切な人をなくして
つらく悲しい思いをしている方に
寄り添うために

グリーフケアとは、『愛する人との死別、倒産やリストラにより仕事を失った人、終末期の患者、災害や事故・犯罪等により財産や生活の場（故郷）を喪失し、大きな悲嘆を抱え込み、人生を挫折してしまっている人々のこころの痛みに「寄り添う」ような関わりをもつ営み』と故水野名誉会長（当法人創立者）は定義づけています。

この営みを続けていくには、グリーフケアを知ってもらうこと、グリーフケアを担う人材を育成していくことが必要です。本講座ではグリーフケアについて関心のある方やその営みを実践したい方へ、必要な知識とその手法を学習していただき、グリーフケアが身近なものと感じること、また実践へつながる講座を目指したいと思いますので、多くのご参加お待ちしております。

こころの痛みを安心して話すことができ、受け止められる社会になることを願っております。

25日(土)受付12:30

- 13:00 ご挨拶 認定NPO法人千葉県東葛地区・生と死を考える会 理事長 竹内 啓二 氏
- 13:15 講義①『死別や喪失を語るときに私たちが語ること』
奥野 光 氏
- 15:15 講義②『「納得いかない」というグリーフを語る意味』
- 17:00 終了 葛西 賢太 氏

開催日



2025

10 / 25 SAT

26日(日)受付10:00

12:00～13:00 昼食休憩

- 10:30 講義③『なぜ対話で癒えるのか：グリーフケアの新たな挑戦』
花田 太平 氏 半田 タユ美 氏
- 13:00 演習 『ダイアログ体験ワークショップ』
- 15:00 クロージング 花田 太平 氏 半田 タユ美 氏
- 16:00 終了

10 / 26 SUN

定員及び対象者並びに受講範囲

※対面参加者については定員超過の場合、当会会員優先

※10月例会として、25日のみ対面/オンラインで参加希望の方は申込みフォームにて

▶対面…30名ーグリーフケアスタッフを目指したい方、グリーフケアスタッフでグリーフケアを学び直したい方。ただし25日はオンライン参加でも可。

▶オンライン…100名ーグリーフケアについて学びたい方ー講義①②③まで ※演習は対面の必要性がありオンラインは行いません。

▶アーカイブ（後日録画視聴）…定員はございません。講座終了後1週間程度で講義①②③を配信予定です。

講師紹介



おくの ひかる
奥野 光氏

二松学舎大学学生相談室カウンセラー。ナラティブ実践協働研究センターコラボレティブパートナー。臨床心理士、公認心理師。翻訳をきっかけにナラティブ・アプローチに出会い、大学の学生相談において実践している。その人にとって大切なことを話し、聞かれながら生きていける社会であってほしいという願いから、市民、遺族、医療介護スタッフが自分のことや大切な人のことを語り直す営みを支援している。共訳書に『人生のリ・メンバリング』（金剛出版）、『ディグニティ・セラピー』（北大路書房）、『ふだん使いのナラティブ・セラピー』（北大路書房）、『手作りの悲嘆』（北大路書房）などがある。



かさい けんた
葛西賢太氏

上智大学大学院実践宗教学研究科死生学専攻教授。同大学グリーフケア研究所所員。チャプレン研究会主宰。公認心理師。大学院およびグリーフケア研究所で、傾聴者養成に関わる演習科目等を担当。とくに依存症回復と宗教の関わりの研究、そして、傾聴者養成の方法論とその国際比較に、現在取り組んでいる。編著は『ケアとしての宗教』（明石書店）、『現代瞑想論』（春秋社）、『仏教心理学キーワード事典』（春秋社）、『断酒が作り出す共同性』（世界思想社）、『宗教学キーワード』（有斐閣）など。訳書として、『アルコールクス・アノニマスの歴史』（明石書店）など。<https://researchmap.jp/ktkasai>



はなだ たいへい
花田太平氏

麗澤大学外国語学部准教授。英国エクセター大学大学院にて修士・博士課程を修了。専門は英文学、西洋政治思想史、批評理論。現在は、オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン（ODNJP）正会員として、「対話」と「ナラティブ」に注目し、研究・実践活動を行っている。著書に、『Samson in Labour: Milton and Early Modern Political Theology』（麗澤大学出版会）、主な論文に、「トラウマの中空構造の思想史：環状島モデルとポスト・ホロコーストにおける公的空間の再構築」（麗澤大学紀要108号）、「当事者概念の思想史的考察：ポスト・ホロコーストにおける「語り口の問題」をめぐる」（麗澤大学紀要105号）などがある。



はなだ たゆみ
半田タユ美氏

とうかつ生と死を考える会理事・麗澤大学障がい学生支援課職員。水野治太郎先生の著書を読んだことがきっかけとなり、麗澤大学に進学。その後、水野ゼミに所属し、生と死、グリーフについて学ぶ。卒業後は、廣池学園出版部等に勤務、その後、麗澤大学にて広報、就職、学生課等を経て、現職。その間、水野先生と共に、社会教育団体で生と死を考えるセミナーの企画を担当しつつ、東洋英和女学院大学院にて死生学を専攻。現在は、ナラティブアプローチ、対話、オープンダイアログを活かし、とうかつ生と死を考える会のグリーフケアボランティアに従事。

参加申込

右のQRコードを読み込んで必要事項を入力し送信して下さい。
申込締切後に参加費振込先等をお知らせいたします。（定員超過の場合には受講可能かどうかをご連絡いたします）

申込みフォーム
(表のQRコードと同じ)



申込締切 10/10

参加費

一般の方 —— 対面 5,000円ーオンライン 4,000円ーアーカイブ3,000円
(10月例会として25日のみの参加は対面でもオンラインでも3,000円)
当会会員の方ー対面 4,000円ーオンライン 3,000円ーアーカイブ2,000円
(10月例会として25日のみの参加は対面でもオンラインでも2,000円)
※希望者に10/26(日)のお弁当(お茶込み1,000円)をご用意します。

会場案内

(千葉県柏市
光ヶ丘2-1-1)
※なるべく公共交通機関をご利用の上ご来場ください。



▶電車・バスでお越しの方
JR常磐線「南柏」駅東口より、東武バス（1番乗り場）にて乗車約4分。「麗澤大学前」下車後、キャンパスプラザまで徒歩約7分、麗澤大学あすなろ校舎まで徒歩1分で到着
※北門は閉鎖していることがあるため正門からお入りください。

※近くにコンビニ（セブン・イレブン）がありますが、昼食休憩が1時間のため事前のご用意をお勧めします。

修了証

対面参加で全日程受講者された方には講座終了後に修了証を発行いたします。

主催
お問合わせ先

認定NPO法人千葉県東葛地区・生と死を考える会 事務局 三井
： 千葉県柏市南柏1-5-14南柏会館7階
Mail/mitsui@grief-care.com. Tel/04-7141-2440
※不在多いためメールでお願いいたします。

後援： 柏市

